
第29回頭頸部放射線研究会

第29回胸部放射線研究会

東京部会プログラム

- 日時：平成15年6月14日(土) 14:00～17:50
- 会場：パークタワーホール(新宿パークタワー3F)
東京都新宿区西新宿3-7-1 電話 03-5322-6633
(注：交通案内図は別紙を参照下さい)
※会場整理費として当日1,000円いただきます。

◎頭頸部放射線研究会東京部会

代表世話人：黒崎喜久(順天堂大) 辰野 聡(東京慈恵医大)
山田恵子(癌研病院)

世話人：浮洲龍太郎(昭和大横浜市北部病院) 栗原宜子(聖マリアンナ医大東横病院)
酒井 修(ボストン大) 鈴木恵子(東京女子医大) 塚本 浩*(静岡市立清水病院)

顧問：多田信平

◎胸部放射線研究会東京部会

代表世話人：蜂屋順一(杏林大) 酒井文和(東京女子医大) 中島康雄(聖マリアンナ医大)

世話人：荒川浩明(獨協医大) 氏田万寿夫(東京慈恵医大)
櫛橋民生(昭和大横浜市北部病院) 楠本昌彦(国立がんセンター中央病院)
栗原泰之(聖マリアンナ医大) 甲田英一*(東邦大学大橋病院)
佐藤雅史(日本医大第二病院) 南 学(東京大)

顧問：土井 修

*は第29回当番世話人です。

演者へのお願い

- ◆スライドプロジェクターは2台使用です。
- ◆パソコン使用可能(但しパソコンはご持参下さい)
- ◆ビデオ(SVHS)もご使用いただけます。

共催 頭頸部放射線研究会東京部会
胸部放射線研究会東京部会
田辺製薬株式会社, 栄研化学株式会社

事務局：〒355-0055 東松山市松風台 4-62 電話 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587 E-mail : ky2s-mtms@asahi-net.or.jp
--

第 29 回頭頸部放射線研究会東京部会プログラム (14:00~15:30)

☆ 一般演題は、発表 5 分、討論 3 分です。

一般演題 1 (14:00~14:24) 座長：山田 恵子 (癌研病院)

1. 顔面神経類枝に沿う神経周囲進展の CT/MRI 所見

東京慈恵会医科大学・放 Department of radiology, University of Florida¹⁾

尾尻博也, 福田国彦, Mancuso AA¹⁾

要旨：頭頸部領域悪性腫瘍における神経周囲進展の評価は治療計画において重要である。顔面神経類枝に沿う神経周囲進展を示した 3 例につき画像所見を検討し文献的考察とともに報告する。

2. Salivary duct carcinoma の一例

帝京大学・放

田中宏子, 原澤有美, 小池洋介, 工富公子, 高田晃一, 古井 滋

要旨：悪性度が高く予後不良な腫瘍である耳下腺原発の salivary duct carcinoma を経験したので、文献的考察を含めて報告する。

3. MRI で腫瘍内に造影効果を認めた上顎洞血腫の一例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・耳鼻¹⁾ 同・病理²⁾

浮洲龍太郎, 櫛橋民生, 藤澤英文, 北之園高志, 市川珠紀, 武中泰樹, 浅野理恵¹⁾, 柳裕一郎¹⁾, 徳丸岳志¹⁾, 池田尚弘¹⁾, 門倉義幸¹⁾, 塩川 章²⁾

要旨：54 歳, 男性。主訴は進行性の左頬部腫張, 鼻出血。MRI では左上顎洞内に一部強く造影される腫瘍が充満していた。手術後の病理所見は慢性炎症を背景に、内皮に被覆され一部器質化した血腫であった。

一般演題 2 (14:24~14:40) 座長：浮洲 龍太郎 (昭和大横浜市北部病院)

4. 上顎骨を置き換えるような骨溶解性変化を認めた上顎骨転移の一例

昭和大学藤が丘病院・放 Boston University, Boston Medical Center・放¹⁾ 自治医科大学・放²⁾

藤田晃史, 酒井 修¹⁾, 木根淵裕子, 久保田勇人, 林 高樹, 大淵真男, 本田 実, 杉本英治²⁾

要旨：症例は 73 歳, 男性。食道癌で Chemoradiation を施行。経過中に上顎歯の動揺感を自覚し、頸部 CT で上顎骨を置き換えるような骨溶解性変化を認めた。興味ある所見を呈した上顎骨転移を報告する。

5. 顔面横動脈に生じた仮性動脈瘤の一例

大田原赤十字病院・放

加藤弘毅, 水沼仁孝, 清水敦夫, 舘野展之

要旨：症例は 73 歳, 男性。左耳介前部に裂傷を受傷。5 日後, 左頬部に腫張出現, CT・超音波で仮性動脈瘤と診断。増大傾向あり, 血管造影を施行, 左顔面横動脈の仮性動脈瘤と診断, コイルによる遠位近位塞栓で完治した。

●教育講演 (14:50:~15:30) 座長：黒崎 喜久 (順天堂大)

「咽頭・喉頭癌の病期分類と画像診断」

中山 圭子 先生 (大阪市立大学大学院・放射線医学教室)

要旨：咽頭・喉頭癌では、正確な病期診断を行うことが適切な治療法の選択に不可欠であり、患者の予後や QOL を左右する。腫瘍の進展範囲、リンパ節腫大、遠隔転移の有無を正確にとらえるのに画像診断の役割はきわめて重要である。今回は、咽頭・喉頭の解剖と病期分類一般に広く普及している CT, MRI に加えて、FDG-PET が治療効果の判定に有用であることを紹介したい。

第 29 回胸部放射線研究会東京部会プログラム (15:50~17:50)

●教育講演 (15:50~16:30) 座長: 佐藤 雅史 (日本医大第二病院)

「イレッサ[®]による急性肺障害の病理」 福田 悠 先生 (日本医科大学・第一病理)

要旨: イレッサ[®]は、上皮細胞増殖因子受容体チロキシンキナーゼ阻害作用を持つ分子標的治療薬としていち早く許可された。その後、副作用として重篤な急性肺障害が明らかとなった。2002年12月28日に、全国合同のCPCを開催し、8症例を検討した。その結果と肺障害発症機序に関する考察を述べる。

☆一般演題の発表は、発表7分、討論3分です。

一般演題1 (16:30~17:10) 座長: 栗原 泰之 (聖マリアンナ医大)

1. 肺に腫瘤を形成し、肺癌類似所見を示した多発性骨髄腫の一例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・呼吸器センター¹⁾ 同・病理²⁾

藤澤英文, 榑橋民生, 浮洲龍太郎, 鈴木美奈子, 市川珠紀, 北之園高志, 武中泰樹, 澁谷泰弘¹⁾, 鹿間祐介¹⁾, 中島宏昭¹⁾, 塩川 章²⁾

要旨: 76歳男性。左上葉に5cm大の腫瘤と左副腎腫瘍・左鎖上リンパ節腫大がみられ、肺癌の副腎・リンパ節転移が疑われた。擦過細胞診でclass Vの腺癌と診断された。全身状態不良で積極的治療は行われず、剖検で多発性骨髄腫と診断された。

2. 肺の小さなすりガラス様陰影が腺癌に進展した2例

都立駒込病院・放

阿部克己, 鎌田憲子, 牛見尚史, 田中智香子, 高木康伸, 伊藤治彦

要旨: CT上小さなすりガラス様陰影を呈し、肺の異型腺腫様過形成または早期肺癌と考えられた病変が、数年の経過で肺腺癌に進展した2症例を報告する。

3. 胸水貯留で発症したサルコイドーシスの一例

杏林大学・放 同一内¹⁾

稲岡幸幸, 横山健一, 中島美佳, 蜂屋順一, 佐野彰彦¹⁾, 後藤 元¹⁾

要旨: 54歳, 女性。労作時呼吸困難にて近医受診。胸部単純写真, 胸部CTにて両側胸水貯留を認めた。胸水穿刺を施行したが, 原因は不明。経過観察のCTにて両側肺野に線状・粒状影が出現し, サルコイドーシスの診断に至った。

4. 脊椎カリエスを伴った粟粒結核の一例

日本医科大学付属第二病院・放

石渡京子, 佐藤雅史, 山本 彰, 山本博人, 菊池真理, 梶原佳子, 山田丈士, 金城忠志,

阿部和也, 椎葉真人, 奥山孝男

要旨: 75歳女性, MRIにて胸椎の骨転移が疑われたが, 同時期に施行された胸部CTにて粟粒結核と診断した1例を呈示する。

一般演題2 (17:10~17:50) 座長: 榑橋 民生 (昭和大横浜市北部病院)

5. 典型的な画像所見を呈した剥離性間質性肺炎の一例

聖マリアンナ医科大学・放

松岡 伸, 栗原泰之, 新美 浩, 八木橋国博, 中島康雄

要旨: 症例は63歳男性。胸部単純写真およびCTにて典型的な剥離性間質性肺炎 (desquamative interstitial pneumonia: DIP)の所見を呈し, VATSにて組織診断がなされた。ステロイドによる治療が有効であった。

6. BOOP との異同が問題となる NSIP の一例

獨協医科大学・放射線科・呼吸器アレルギー内科¹⁾

荒川浩明, 山崎英玲奈, 藤岡睦久, 滝沢秀典¹⁾, 福島康次¹⁾, 福田 健¹⁾

要旨: 画像, 臨床, 組織に乖離が見られた NSIP の一例を提示する。

7. 特発性肺動脈瘤の一例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター・放射線科

加藤晃弘, 星 俊子, 叶内 哲, 高柳 昇, 松島秀和

要旨: 男性。20 歳頃, 肺動脈瘤と診断, 保存的に観察。咯血で入院を反復, 止血剤にて対処。この間, 肺動脈瘤は増大。40 歳で入院時, DIC にて死亡。瘤の原因は明らかでなく特発性と考えられた。

8. 心臓原発の血管肉腫の一例

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

花岡昇平, 岸本理和, 神立 進, 鎌田 正, 溝江純悦, 辻井博彦

要旨: 心臓原発の悪性腫瘍は, きわめてまれである。我々は, 心臓の血管肉腫の症例を経験したので報告する。腫瘍は右心房を大きくしめ, 血管の発達が著明であった。腫瘍内部には出血を示唆する像が認められた。

hexabrix[®]

ONLY ONE!

薬価収載 指定医薬品 **ヘキサブリックス[®]320**
イオン性低浸透圧尿路・血管造影剤/イオキサグル酸注射液

●警告、効能・効果、用法・用量、使用上の注意は製品添付文書をご参照下さい。
●警告、使用上の注意の改訂に十分ご留意下さい。

製造発売元 資料請求先
栄研化学株式会社
東京都文京区本郷1丁目33番8号

販売元 資料請求先
田辺製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目2番10号

提携先
ゲルベ社
オールケー (フランス)
Gelbet

1999年3月作成